

クビアカツヤカミキリ対策について

令和 8 年 8 月 20 日 環境資源課

1 趣旨

町内の桜の木において、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」による食害が拡大しており、各所管部署では被害拡大を防ぐための対応を進めているところです。つきましては、現在の被害状況および今後の対応について、ご報告いたします。

2 クビアカツヤカミキリとは

サクラやモモ、ウメなどの樹木に寄生し、幼虫が樹木内部を食害することで、樹勢の衰退や枯死を引き起こす「特定外来生物」に指定されています。寄生した幼虫は樹木内で1～3年かけて成長し蛹を経て成虫になります。被害を受けた樹木では、幹や根元から幼虫の排出物である「フラス」が確認されるほか、成虫は羽化する際に形成される「脱出孔」といわれる穴から外部へ脱出します。



【図 1 成虫】



【図 2 フラス】

提供：埼玉県環境科学国際センター

3 各公共施設の被害状況（令和 8 年 8 月 20 日現在）

① 環境資源課所管の桜の木	108 本（伐採予定 14 本）	
② ぐるる宮代	29 本	
③ 町内公園及び町有緑地帯	8 本（伐採予定 2 本）	
④ 新しい村	1 本	
⑤ 百間中学校	1 本	合計 147 本（伐採予定 16 本）



【図 3 町内の被害木】



【図 4 脱出孔】

4 環境資源課が管理する桜の木の対応状況

① 薬剤防除

● 薬剤散布防除

- 薬液を株元から主幹部にかけて散布。6月・7月に実施済み。
(防除適期 6月～8月)

● 薬剤樹幹注入防除

- ドリルで株元に穴をあけ、薬剤を直接注入。7月に実施済み。
(防除適期 5月～10月 新葉が十分に展開してから落葉まで)

樹幹注入実施場所	本数	合計
大字和戸地区 古利根川沿い	4本	15本
字百間地区 姫宮落川沿い	10本	
笠原地区 配送事業所前	1本	

② 倒木注意看板の設置

倒木注意喚起（町ホームページ）

- 被害が顕著な14本の桜の木（別紙参照）については、倒木の危険性があることから、近隣住民への注意喚起を図るため、現地に注意を促す看板を設置するとともに、町ホームページにおいて周知を行っています。



【図 5 注意看板】

5 今後の対応について

① 伐採の実施

- 被害が顕著な 14 本の桜の木（別紙参照）については、クビアカツヤカミキリの幼虫による食害により樹木内部が空洞化し、倒木や枝の落下による人的被害が発生する可能性があることから、安全確保を最優先に、緊急的に伐採を実施します。

② 状況把握

- 桜の木の被害状況について引き続き調査を実施し、適切に対応をしていきます。